

新型コロナウイルス感染症 対策に関する要望・意見

要望事項・意見（16件）

- | | | |
|---|-------------------------|------|
| 1 | 感染予防対策について | （2件） |
| 2 | 園児や児童・生徒の安全確保と精神的ケアについて | （6件） |
| 3 | 県への要望について | （3件） |
| 4 | その他 | （5件） |

令和2年4月23日提出

秦野市議会災害等対策会議

新型コロナウイルス感染症対策に関する要望・意見一覧②

秦野市議会災害等対策会議作成

令和2年4月22日現在

No	要望・意見の内容
1 感染予防対策について	
1	大根公園やカルチャーパークは、閉所としているが、週末は多くの市民で混雑している。注意喚起をするなど「密」を避けるための工夫(園内放送や看板での周知など)をしてほしい。
2	緊急事態宣言が出ている中、防災行政無線を活用し外出自粛などの注意喚起を行ってほしい。伊勢原市では実施している。
2 園児や児童・生徒の安全確保と精神的ケアについて	
(1) 安全対策について	
1	各学校に無人清掃ロボット「UV殺菌ロボット」(カンタム・ウシカタ株)や、「オゾン発生器」などを配備することが保護者や教職員に安心を与えるものと思われるので、導入を検討してほしい。 また、4月6日時点では、教職員に教室・トイレの消毒を指示されていたと思うが、教職員が対応するには、感染予防のための最低限の装備を揃える事や、対応マニュアルが必要だと考える。マニュアルの作成については、感染症の専門部署に協力を依頼することが望ましい。その結果、教職員のキャパシティを超えるのであれば、清掃・消毒の作業は業者へ委託するべきだと思う。
2	テレワークの対応ができていない保護者が、保育園や託児所に子どもを預ける事例が散見される。感染拡大の確率を少しでも下げるためには、保育所に預けず自宅で対応されている保護者には、メリットがあるようにしたり、自宅で見ることが出来る状況にあるにも関わらず、保育所に預ける保護者にはデメリットを設けるなどの検討をしてはどうか。
3	校舎内に入るすべての人に、衣服や靴の簡易清掃や除菌ができないか。
4	WHOの終息宣言が出る前に、感染リスクの高い弁当や給食を校内で取る場合は、対面で話しながらの食事とならないよう、感染予防にも注意を払ってほしい。また、共用となる校舎内のトイレは、感染リスクが高いと考えられるため原則、使用禁止が望ましい。
5	5月7日以降の学校休校延長について 「小学校はGW明けから再開するのでしょうか？」という市民の方からの悲痛な声が断続的にメール等で寄せられてきている。南小学校の保護者からのメールを紹介すると、「医療崩壊が起きている現状で、学校再開は危険なのではないかと思います。もし、GW明けに学校再開の方向で話が進んでいるようでしたら、是非、休校の延長をご検討いただけるよう関係する方々に働きかけていただけないでしょうか？子どもも『学校は密だよ』と言っています。南小学校は、マンモス校でもあり、市内の他の小学校でも感染者が発生した場合の被害が大きいのではないかと思います。至急、御検討ください。」 また、学校を再開する場合は、今後のスケジュールや感染予防等の対応方針について保護者等に早急に発信していただきたい。

(2) 児童等のケアについて	
1	休校中の子どもたちに向け、市長や市内の校長先生などが3分間ほどの朝礼・昼礼・夕礼を防災行政無線を活用して行うことで、学校再開に向けてのリズムを取り戻すきっかけを創出してほしい。
3 県への要望について	
1	県立秦野戸川公園でも公園施設の利用を休止にしているが、週末などは県外ナンバーの車が多く駐車しているなど混雑をしている。感染拡大防止のため、注意喚起をするなど「密」を避けるための工夫(園内放送や看板での周知など)をしてほしい。
2	PCR検査数・陽性率の情報開示について 都道府県は、感染状況の実際の増減推移を知るために、随時、厚生労働省の指示のもと、PCR検査数ならびに陽性者数・陰性者数等を報告している。しかし、市民にはこの事を全く知らされていない。県は、現在、市町村別の感染者数を発表しているが、PCR検査の関連情報が除外されている。検査数に対する陽性率とその推移が分かる数値を公表しなければ、実際にその地域の陽性患者数が、増えているのか減っているのか分からない。 ちなみにNHKが厚労省に調査を求めたところ、神奈川県は、4月17日現在、陽性率19%で前月に比較して上昇傾向にあるという報告をしている。市民に開示する情報は、単に毎日の感染者数だけではなく、1か月前、3週間前、1週間前の変化が分かる数字です。 NHK【2020年4月18日 19時55分】 https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200418/k10012394711000.html 現在、県が国に報告している市町村別PCR検査数と陽性者数、陽性率等の情報を市民にも周知するよう、市は県に対して積極的に働きかけていただきたい。
3	4月16日現在、平塚保健福祉事務所管内での感染患者は41名に達し、増加の一途をたどっている。危機管理対策室に置かれては、市民に自粛の自覚を客観的に伝える手段として、是非とも市町毎の感染患者数を発表するよう、平塚保健福祉事務所(県)に要請してほしい。 ※4/17神奈川県対応済み
4 その他	
1	除菌水の配布などの情報について、防災行政無線などを活用し周知してほしい。中井町では実施している。
2	表丹沢野外活動センターは、現在、休館しているが、職員の勤務体制は縮小しているのか。緊急事態宣言が出ており、休館をしている中、適切な勤務体制を取ってほしい。
3	コロナ不況の影響で治安の悪化も考えられる。警察や消防の方には、感染対策をしっかりとされたうえで、市内の防犯・安全対策に取り組んでほしい。 東日本大震災の時は、平塚市でイチゴを根こそぎ奪う窃盗団、給油のふりをして油を盗むなどの事例がありましたので御一考をお願いしたい。
4	WHOの終息宣言が出る前でも、感染症に配慮した避難所運営が出来るよう、早急に体制を組み上げる必要がある。 感染予防のためには、体育館のみに避難者を集めるのではなく、教室や屋上の活用も必要である。また、協力事業所との協定など速やかに定めるべきであると考えている。
5	ライフラインを支える機関や施設等への支援について 最低限の社会生活の維持を直接支えている施設(医療機関)や福祉施設(保育園・高齢者施設、障がい者施設)への物資(除菌水・マスク・手袋等)の配布について、要望を受けている。何が足りていないのか、聞き取りを行ったうえで、迅速に進めていただきたい。